

# まちの日記帳



## 商店街に歓声と笑顔 ―大盛況の「はじ」酒大会―

10/16

横丹飲食店組合(別所範一会長)は、日頃の感謝と町の活性化を図るうと、飲食店11軒の協力のもと、美国町で5回目を迎える「はじ」酒大会」を開催し、町内外から220人が参加しました。

職場の同僚や仲良しグループなど、4件の店を制限時間1時間15分でゴール目指して渡り歩き、ゴールした後は、総合文化センターで景品140本が当たる大抽選会が行われました。参加者は、ほろ酔い加減が相まってか、抽選のたびに悲鳴や歓声があがり、当選者の笑顔があふれる「千円つかみ取り」には四人が挑戦し、最高獲得額は2万6千円でした。



## 気分はカメラマン ―第5回少年教室写真教室―

10/18

写真活動を通して、自然と親しみ観察力を育て、表現力や想像力を養おうと町写真愛好会(井端順司会長)が協力して「写真教室」が行われました。

小学生3年生から6年生の児童13名が参加。カメラの扱い方や撮り方などの説明のあと、一人一台カメラを持ち、撮影の実践です。好天の中、黄金岬の展望台から望む海や町並みの観察、美国漁港では水揚げされたサケの様子、旧ヤマシメ邸内部の見学などさまざまな被写体を自由な感性で撮影をしていました。



## 勝利へアタック ―バレーボール大会―

10/20

第18回B&G会長杯バレーボール大会が海洋センターで開催され、女子の部のみで争われた大会には4チーム24人(内古平町2チーム)で行われました。各チームとも優勝を目指して白熱した試合が展開され、会場は熱気に包まれていました。

- 大会結果は次のとおり。
- 【優勝】 入舸ゲートボール愛好会 (代表 川井順應さん)
  - 【準優勝】 美国ゲートボール愛好会 (代表 熊本 和子さん)
  - 【第3位】 余別ゲートボール愛好会 (代表 新井田明見さん)
  - 【第3位】 古平ラージ1 (代表 佐々木順子さん)



## ナイスショットにナイスプレー ―町内ゲートボール大会―

10/24

第25回町内ゲートボール大会(町教育委員会主催)がふれあいゲートボール場で行われました。大会には5チーム27名が参加し、熱戦が繰り広げられ「ナイスショット」を連発していました。大会結果については次のとおり。

- 【優勝】 入舸ゲートボール愛好会 (代表 川井順應さん)
- 【準優勝】 美国ゲートボール愛好会 (代表 熊本 和子さん)
- 【第3位】 余別ゲートボール愛好会 (代表 新井田明見さん)



陶芸づくりに挑戦!  
— 第一回文化町民教室 — 9/25



陶芸づくりに通じて、作品づくりの楽しさを味わい積極的に地域活動へ参画する意識の高揚を図ろうと町教育委員会主催による町民文化教室が総合文化センターで行われ、陶芸づくりにチャレンジしました。

参加者は7名と少数でしたが、陶芸づくりに対する関心が高く集中して創作活動が行われました。

講師の荻野正さん(野塚町)の指導のもと、初心者から中級者、上級者とそれぞれの技能にあわせて創作し、粘土をこね、手びねりで形を整え、思い思いの作品づくりに真剣に取り組んでいました。

ニシン漁往時をしのぶ  
— じゃこたん美国やん集み祭 — 10/3



やん集み小道づくり推進協議会が主催する「じゃこたん美国やん集み祭」が10月3日、旧ヤマシメ邸で開催されました。当日は、あいにくの天気でしたが、旧ヤマシメ邸の屋根と居間の一部が改修され、初めて公開されるとあって、町内外から220人が訪れました。

正調鯨場音頭保存会によるソーラ節の披露や駒木定正北海道職業能力開発大学教授(小樽市)の講演が行われました。

また、美国婦人会と商工会女性部の皆さんによる「おにぎり」と「ニシンの三平汁」がふるまわれ、来場者はニシン漁の往時をしのんでいました。

「ノルディックウォーキング」気分爽快  
— 第4回リフレッシュ学級 — 10/8



第4回リフレッシュ学級がB&G海洋センターで行われ、8名の学級生が参加しました。

今回は、屋外で運動することの少ない高齢者のための運動として、歩行をスポーツ感覚で手軽にできる「ノルディックウォーキング」が行われました。

ポールの使い方や歩き方の指導を受けたあと美国町内1・8kmを歩きました。学級生は、自分の能力に合わせ、腰を伸ばし、休みながらウォーキングを楽しみ、歩行能力の高い参加者は同コース2周目に挑戦する方もあり、積極的に運動に親しみ、全員完歩しました。

今年もおいしくできました  
— 第20回婦美収穫祭 — 10/11



第20回目を迎える「婦美収穫祭」(酒巻徹実行委員長)が10月11日、婦美町のレストラン、グリーンホリデー駐車場で行われ、町内外からの旬の味覚を求めて多くの人々が訪れました。

あいにくの雨の中、婦美地区の農家の皆さんが丹精込めて生産した農産物を直接販売する収穫祭は、生産者の顔が見えることで、品質の安全性、新鮮さ、安さが評判を呼び、今年も開始前から長い行列ができました。中には午前8時30分の開始時間より1時間以上も前から並んでいる方や、カボチャやジャガイモなどを次々買い込み、一輪車で運ぶ姿が見られました。